

現代 社会

地方自治

地方政治の参加を学ぶ

池田幸也 東京都立忠生高等学校教諭

① 新聞活用のねらい

- ①各自治体や地域社会独特の課題について触れた新聞記事を活用し、「地方自治」を具体的かつ身近なものとしてとらえる。
- ②新聞記事を活用し、地方自治における「直接請求権」の趣旨、手続きについて確認する。

② 授業構成

(3~4時間)

ねらい

- ①新聞記事から、地方自治のしくみや、直接請求権の手続きを整理させる。

おもな学習活動

- ①日本国憲法や地方自治法に基づき地方自治の基本原則（「団体自治」「住民自治」）を理解させ、そのなかの住民による直接請求権について理解する。

指導の
ポイント

- 直接請求の種類、手続き、意義などについて事前に資料などを使って整理し、表にまとめさせておく。
- 新聞に掲載された登録者数をもとに、各種の直接請求を行うために必要な署名数を計算させ、各地域における直接請求の意義を考えさせる。

資料▶ 1

資料▶

「日本国憲法下の地方自治」（清水書院）

- ②監査委員の役割と在り方を考えさせる。

- ②近年増加傾向にある住民監査請求と監査委員の役割について理解する。

指導の
ポイント

- 地方自治法に規定がない「監査委員を監査せよ」との監査請求について、その手続きや考え方を検討させる。
- 監査委員をどのように監査するのか。監査委員を監査するための規定がないといった法律上の問題点にも気づかせる。

資料▶ 2 3

- ③都市部における住民の地方政治への参加意識を調べさせる。

- ③例えば東京都内で働きながら、近県で生活する“埼玉都民”“千葉都民”と言われる人々の地方政治への参加意識を考える。

指導の
ポイント

- 地方選挙の際の候補者選びに関する記事から、大都市圏で見られる居住地と職場で異なる自治体に属する人々の地方自治への参加意識について考えさせる。

資料▶ 4

- ④新しい政治参加の形態として地方議員の活動を評価する住民の活動を考えさせる。

- ④政治参加には、選挙や直接請求といった制度的なもののほか、住民自身のアイデアによって、政治参加への方策が創造できることを知る。

指導の
ポイント

- 新しい政治参加の一例として紹介するだけでなく、マスコミ報道によって関心、意識が高まるこことにも気づかせる。

資料▶ 5

- ⑤地方自治の課題、財政の問題を考える。

- ⑤地方自治体の財政問題について最新の具体的な数字をあげ、他の自治体と比較・検討させる。

指導の
ポイント

- 地方分権推進委員会の検討過程を生徒に調べさせ、行政改革の一環としての意義についてまとめさせる。
- 財政改革の観点からも地方分権の推進を理解させ、財政面からの自治の確立について考えさせる。

資料▶ 6

毎日新聞
1995.1.7付朝刊

「東京都の監査事務局との
監査委員が、懇親会で一人
当たる三万四千円の経費を
支出したのは税金の無駄遣
いなどとして六日、都
内の男性が都に監査請求
を行った都は都に受理し、
監査の方法を検討するが、
税金の使途をチェックする
立場の監査委員が監査を求
められたのは、全国でも初
協議会」を主催した。初日

「無駄遣い」

都民の請求受理

事務局と懇親会

は京王アラザボホテルで会議の社会通説を説教して、と懇親会を開催し、十九日には船で「東京遊覧観察」を実施。参加者は記念品としてベンダントも配布し、会費は不当として「監査は不當」として監査員が不適切をしたのを指摘。都側は「監査する事者が監査定めたところが監査定は地方自治法の場合の規定ではない、監査方法を検討する必要がある」と話している。

都監査委身内には甘い？

使用說明書

卷三

資料3 読売新聞
1995・3・8付朝刊

都監査委身内には其
480万円懇親会を

日い？

2日現在の
都内有権者

都選舉管理委員会は8月2日現在の選挙人に對して、名簿登録者数を発表した。有権者数は昨年同月より約86954人が多い9605万票である。

衆議院小選挙区別登録者数		昨年9月 現地登録者数 との比較
選挙区名	男女計	
1区	391,193	3,514
2区	331,845	2,749
3区	431,661	3,640
4区	397,049	2,373
5区	444,712	3,352
6区	415,088	3,229
7区	429,467	2,655
8区	402,820	2,795
9区	321,647	2,540
10区	413,038	3,052
11区	383,859	3,127
12区	395,125	3,000
13区	322,942	1,301
14区	303,278	4,448
15区	409,568	6,372
17区	421,133	1,642
18区	331,935	2,848
19区	420,684	4,897
20区	368,207	3,787
21区	344,904	2,981
22区	449,481	5,534
23区	404,641	4,953
24区	399,495	8,057
25区	306,191	3,017

965万3672人

都議會議員選舉區	男
(合區選舉區)	
西多摩選舉區	19
南多摩選舉區	16
北多摩第1選舉區	14
北多摩第2選舉區	14
北多摩第3選舉區	14
北多摩第4選舉區	14
北多摩第5選舉區	14
島部選舉區	14

増えた。
衆院選の小選挙区別では、議員一人当たりの有権者数が最も多かったのは、北多摩選挙区(調布、狹江市)の11万1589人。
特例選挙区の島根(千曲川)は、最も少なかった。

空心 論説委員室から

資料
4

朝日新聞
・1・
24付夕刊

川を越えれば東京、いふに市に住んでまでもない四年になる。じへ来て初めての市議選を、いま迎えている。

すぐ廢の市は、全国の人口密度で名高い。われ町も「四民當たり、五千三百人を超す住民がひしめいている。

そして、「二十議席を三十二候補が争つて、投票率が過ぎるのは、時代から連れていはま打だ、といふ光景にのみなる。困ったことに、だれも投票率が過ぎじしない町ばく年間に、べきなのが見当がつかない。選舉公報にも、覺えのある候補者名はない。子どもの学校での知告示前

論説委員室から

憲

困 つ た ！

人の「選舉じむ〇〇あべく」が、自分の幼稚園、病院など、うかがひして、と頼むねども、はある。情は動くがおとなしく承知できる事柄ではない。政党で選ぶ手はどりか。だが、候補者の多くは四人までは、無所屬で、国民党の自民黨公認が五人ただだ。國政の政党市政の立場ともども、たが転居して口の我こ、間違の都合で、は、肝心の選舉の参加がなかなか難問なのだ。

民主主義の回りから音でいたい、と思ひ。戦後の一時、採用された教科委員の公選制の投票率の低さなど根づかなかつた。町村議会の閑心が低くてはいけない。

万人から書ねる（いまや）、で、日曜日の投票でわらの名前を書いてたまひのか、投票率の一のマイクの声は、日と高い。本当に困った！

（講）

資料 「秋川・五日市合併問題で直接請求」と「選挙人名簿登録者数」の活用

- ①記事の内容から、合併問題の焦点を整理させる。
 - ②記事中の合併問題の経過〈直接請求の動き〉から、直接請求に必要な署名数を「選挙人名簿登録者数」の記事に照らして計算させる。
 - ③合併問題の直接請求手続きについて整理させる。
 - ④この問題の事後の経過についての記事を探させる。
 - *以上のような作業学習を通して、社会的課題を具体的に理解するとともに、その問題点も検討することができる。なお、このような展開は、授業の形態ではなく、試験問題として活用することもできる。

資料 7 朝日新聞
1994. 1.3 付朝刊

資料		◇選挙人名簿登録者数◇				
8		(9月2日現在)				
1 毎 9 日 9 新 4 聴		計	男	女	昨年9月 2日現在 との比較 (△は減)	
都	計	9,380,491	4,668,453	4,712,038	34,914	
区	計	6,464,373	3,193,138	3,271,235	▼1,856	
市	計	2,827,467	1,430,783	1,396,684	35,631	
町	計	88,651	44,532	44,119	1,139	
村	計	63,567	31,943	31,624	99	
島	計	25,084	12,589	12,495	147	
秋 川 市	40,413	20,312	20,101	982		
川 町	17,017	8,330	8,687	195		

秋川・五日市合併問題で直接請求 りぽーと多摩

まず「民意」聞いて 有権者1/5が署名

秋川の求める姿の小池代表は「立場場、名端は出せない」などと強硬を拒むが、一方で「車を断つ」ともあった。回った印象では、十軒中八軒までは趣に賛同してくれば、実際に簽名した人の声を聞いた。秋川市草花の無職者

秋川の「求める会」の小池代表は「立場上、名前は出せない」などと署名を拒否する人があった。回った印鑑では、十軒中八軒までは趣意に賛同してくれた



行政ペースに不信 両市町議会どう判断

5

●意識調査で十分?

●意識調査

両市の「百姓」は七月末から八月にかけては住民意識をもつとした無作為抽出法で、三千五百九十六戸の六五%を採用した。被成町と又いえは被成町を除く・四郷で、「反対」はからと見え反対〇・五%を回す。一方で、「どちらともいがれ」とこれが五〇・五%を占め、これを加へて秋川市と田中町市長は被成町と、合併を促進する議論では、改めて民意を聞く必要があると指摘した。

●意識調査

両市町の会員は、住民意識をアンケート調査した。無作為抽出で、五百九十九人が回答した。三千五百人の六分五
「賛成」と「反対」の意見を回収した。
いえは賛成」を回答したが、その内、「反対」が四百九十九人、つまり五五%である。
五五%を回収したが、その内、「反対」が四百九十九人、つまり五五%である。

は有権者
と十分? 後
つにかけて わ
ント調査會 り
の有権者 れ
然と二年
ちらかと 促
さすと四二 合
・どち・
の計二 結
た。一方け
もいなえ
あつた。
臼井季。 も
夫・五日 ま
住民が多 ど
てしていく が
その後 く
て住民の 主
ない」と し

佳民投票権が行われ
た。併の賛否で論戦、秋川市では、「市議会を成るにあつては、住民による議論の場が必要だ」と主張の糾論が争はれ、同市は仙台市に追いつく市民の会

をつく
を上回
編入さ
れば、
が深ま
合併を
(会長
長)が
情に向
つた。
投票を
表者で
井道郎
はもつ
。行政
ではな
直接民
を生か
してい

秋川市と五日市町の合併をめぐる、「住民投票で合併の賛否を問うべきだ」という論調が、これまでに現れてきた。秋川市に繋ぎ、五日市町のダム予定地で、住民投票が実現するかどうか。舞合は、今月中旬以降に開かれる両市のくみ取るか、議員たちの判断が告される。

小林正
がいい
分から
る秋
意を
つた方
年前に
雨間の
子さん

市町の住民
七日に本請
に移る。民
(藤崎一)

グル
求をす
意をど
昌彦)
)。合併
まだよく
自分の
機会はあ
話す。三
きた同市
並澤美笑
併話は全

た。何の分からぬのなら納得。」
「う。」
だちに共通ペースで進感。五日市アの会長が、
十人の会員ほとんどが、議員は替
意を反映

で。す。め。て。い。る。と。賛。成。が。多。く。と。
●沈默

投票も整理で、ほんの九題はい民題に對し、合併について、五日うち、反対三人、

かに匿名の大学教授は「今（両市町と月）にだを公約しないことをの意思を聞きたいな間接民主制か。質問に答えていな

議員は選ばれても、一九九一年にそれ一人合併しない。八月二十日、やるべきではない議論度での義理を立てるべきではない」と批判

たつ
市町
さん
の事
件は
年間
約公
議員
な住
住民
五口
ひね
いた
こと
全体
い。い
い。
逆の
べき
り、今
して
いて
市町
村ト
「ト
い」
べき
い。
い。

「これで民間に
こになるのを
いる住民も多い
日市町は、
ンケートの
秋川市をさ
村との合併を
る。九一年
では、「今
が五割強と
た」の三割
夏の促進役
没感だつた。

五年ごとの
年のアンケ
までのよ
「合併す
弱を上回
助調査とは